

来光

第33号

浄土宗

迎 接 院

令和5年7月

HP



LINE



ご挨拶

住職 伊藤信道

『^{らいこう}来光』第33号をお届けします。新型コロナウイルス感染症の取り扱いも、5月より5類に変更になりました。それに伴い、ここ数年制限を受けていた活動も、随分緩和されて参りました。

寺子屋サロン（毎週水曜日に開催中）でも、4月・5月と2度バス遠足に出かけました。久し振りのお出かけとあって、私もウキウキしました。新庄村のがいせん桜は名残の桜となっていましたが、心やすい仲間との道中は最高でした。

秋の本山参り「おてつき信行奉仕団」も再開です。10月19・20日の二日間、修復された知恩院に是非お参りしましょう。参加ご希望の方は、7月中にお知らせください。

施^せ餓^が鬼^き会（6頁）、夏休み子ども寺子屋（7頁）、佛さまと弓浜手作り市（8頁）などの活動も、少し

ずつコロナ以前の形に戻していこうと計画しております。

この度、役員として長らくお世話になった足立栄一さん（夜見町2区担当）が交代されることとなりました。足立栄一さんは、40年に渡りお寺を支えてくださいました。本当にありがとうございました。新しい役員は、渡辺昇さんです。よろしく願います。

この『来光』が、お寺と皆様方をつなぐものとなりますように。 合掌



1頁：ご挨拶、目次

2頁：迎接院 新駐車場完成

3頁：令和4年 迎接院 維持費 決算報告、詠唱・写経サロンのご案内

4頁：＜第13回＞『^{せんちやくしゅう}選択集』を読もう

5頁：開山内室 伊藤 花 五十回忌法要を終えて

6頁：施^せ餓^が鬼^き会のご案内、^{たなぎょう}棚経について

7頁：副住職 伊藤 晃希の進路について

夏休み子ども寺子屋を開催します、^{じょうほんえ}浄焚会のご案内

8頁：秋彼岸「佛^{ゆみはま}さまと弓浜手作り市」のご案内



お寺の名刺が新しくなりました



迎接院 新駐車場完成

森さんご寄進の土地



この度、夜見町1区にお住まいの森 研治さんと足立康郎さんより「土地を寄進（寄付）するのでお寺に役立ててもらいたい」という申し出がありました。役員会で協議し、駐車場として整備することと致しました。

足立さんご寄進の土地



既存の迎接院檀信徒用駐車場（568㎡）は、平成20年に新設しました。普段は十分な広さがありますが、行事の際にはお檀家さんの土地や公民館を「臨時駐車場」としてお借りして凌いで参りました。

臨時駐車場の様子



時には駐車スペースがなく、行事に参加できなかった方もおられたと聞いております。せっかくお寺にお参りいただいたのに、とても残念なことでした。

駐車場満車です



☆駐車場工事の様子（令和5年3月～4月）☆



この度寄進いただいた土地は、2つ合わせて1226㎡の広さがあります。既存の駐車場と合わせると、駐車スペースが3倍に広がりました。これで駐車場の心配をすることなく、行事を行えると喜んでおります。



駐車場の整備費用は、お檀家の皆さんから納めていただいた「祠堂（本堂使用料を含む）」を使わせていただきました。皆さん、新しい駐車場をぜひご活用いただき、お寺にお参りくださいませ。

施餓鬼法要開会前に、足立康郎さんと森 研治さんに「感謝状」の贈呈を行うことにしております。 合掌

令和4年 迎接院 維持費 決算報告 (1月1日～12月31日)

令和5年2月19日に監査を受け、3月21日諷誦会後の臨時役員会にて承認を受けましたのでご報告申し上げます。お檀家の皆様には、ご協力ありがとうございました。引き続き、迎接院護持の為に、ご理解ご協力をお願い致します。

単位：円

収入の部	金額	備考
維持費	2,520,600	
雑収入	59,350	浄土宗感染症対策援助給付金 (48,000)・電柱敷地料・利息
収入合計	2,579,950	

支出の部	金額	備考
宗費等負担金	473,000	
建物共済掛金	105,000	
消防用設備管理	30,800	点検2回
宮繕修理費	115,500	便所クロス張り替え
会議費	43,094	定例役員会 (7/2)、臨時役員会3回(6/18・9/3・10/22)
法要・教化・布教費	616,746	寺報2回・カレンダー・配布マッチ・浄土宗新聞・諷誦会・施餓鬼会・涅槃会・花まつり・秋彼岸会・十夜法要(青年僧と別時念仏)・浄焚会・檀信徒会・吉水講等
管理費	1,015,396	供物・香華燭・電話・コピー機・光熱水費・事務通信費・インターネット回線・便所汲取料・境内整備・消耗品等
支出合計	2,399,536	

◎収入合計 2,579,950 円—支出合計 2,399,536 円 = 180,414 円 (次年度繰越)

<新設> 月に一度の 詠唱・写経サロンのご案内

本年4月より新しい活動をスタートしました。鈴証れいしょうのお道具は持たずお歌をお唱えする詠唱サロン。「一枚起請文」「般若心経」「ご詠歌」「写仏」などを書き写す写経サロンです。月末の月曜日開催。どなた様もお気軽にご参加ください。参加志納金400円(お抹茶サービス付)です。

◎詠唱サロン 9:30～10:10

◎写経サロン 10:10～11:30 —途中の出入り自由—



選択集

第十三章

佛、念佛をもちて多善根とし、^{ほとけ ねんぶつ} 雑善をもちて少善根としたもう章



第十三章段では、『^{あみだきょう}阿弥陀経』というお経の中にお念佛以外の^{さまさま しゆぎょう}様々な修行では少しばかりの^{くどく しょうぜんこん}功德（少善根）しか得られないが、「南無阿弥陀佛」と声に出してお称えするお念佛は多くの勝れた^{くどく たぜんこん}功德（多善根）を得ることができると示されています。

法然上人は、善根が少ない他の修行を行うよりも、多くの善根が得られるお念佛を行うべきであると示されています。お念佛が最も大きく勝れた善根であると、お念佛の教えの^{だいぜんこん}多善根・大善根・^{しょうぜんこん}勝善根なることを強調しておられます。

絵図の右側には、^{そうりよ すみ}僧侶が墨をすって仏像を描いています。それぞれ熱心に勤めていますが、少しばかりの善根功德しかないため阿弥陀佛の救いのみ光は届いていません。絵図の左側には^{みょうこう}名号の掛け軸に向かって^{たなごころ}掌を合わせてお念佛を称える人が描かれています。お念佛は多くの善根功德があるので、頭上には阿弥陀様の救いのみ光「^{せつしゆ}摄取の光明」が届いています。

開山内室 伊藤 花 五十回忌法要を終えて

伊藤紀子（寺庭婦人）

「ヨイトマケの唄」を聞くと、祖母の顔が浮かびます。1月11日は祖母の祥月命日。50回忌法要を勤めました。



若くして、当時はまだ「堂」と呼ばれた夜見のお堂の、堂守和尚に嫁いだ祖母です。堂を守る祖父と、暮らしを守る祖母。祖母は、工事現場や飯場で働き、地引き網を手伝ったり、メ鯖を作って行商したり。学校に納めるお金を、期限当日の放課後に、工事現場に取りに行った話を母から何度も聞きました。

お寺では、お檀家さんやご近所さんが、気軽に庫裏の縁側に集まって、賑やかにお茶を飲んでいました。本堂では、農繁期の託児所・戦中戦後の子ども会ホワイトクラブ・女性を集めて踊りや芝居を仕切ったり、女性消防団でも活躍したとか。



戦後、堂はお寺になりました。祖父は開山上人、祖母は開山内室となりました。多くの堂守上人から引き継いで、明治生まれの祖父と祖母が、迎院のお寺としてのあるべき姿を形づくったと思います。困ったことがあると、「祖父や祖母（開山上人と内室）ならどうするかな」「父や母（二世上人と内室）ならどうするかな」と、お仏壇で相談します。そして、「よろしく頼むよ〜♡」と、強力な応援を約束してもらいます。

戦後、堂はお寺になりました。祖父は開山上人、祖母は開山内室となりました。多くの堂守上人から引き継いで、明治生まれの祖父と祖母が、迎院のお寺としてのあるべき姿を形づくったと思います。困ったことがあると、「祖父や祖母（開山上人と内室）ならどうするかな」「父や母（二世上人と内室）ならどうするかな」と、お仏壇で相談します。そして、「よろしく頼むよ〜♡」と、強力な応援を約束してもらいます。



晩年は視力を失った祖母ですが、先天性の股関節脱臼で身動きできない赤ちゃんだった私を、仕事で留守の母に代わって子守してくれました。通りを歩く人に声をかけて、哺乳瓶にミルクを作るのを手伝ってもらっていた話は近所でも有名（笑）。祖父と祖母が毎月の病院受診に私を連れて行ってくれました。「おばさんは目が悪いなんて分からんような歩きぶりだったよ！」と、近所の方から聞きました。おかげで私の脱臼は、治癒することができました。また、寝たきりになった祖母の布団に潜り込んでいたことはよく覚えています。祖母の匂いと温かさ。田舎の小さなお寺のおばちゃんの、私の理想が祖母の姿です。



京都にいる息子も、オンラインで法事に参加してくれました。お墓参りも、息子はオンライン参加です。時代はどんどん移り変わりますが、お寺で生活させていただいている者として、私たち家族として、大切な時間を息子も一緒に過ごしてくれました。とても嬉しかったです♡



お祖母ちゃん、これからも、よろしく願いますね♫

南無阿弥陀仏

紀子

施餓鬼会のご案内

先祖廻向をお申し込みください

恒例の施餓鬼会を7月27日(木) 10時開筵で奉修致します。今年は4年ぶりに他寺院の和尚さんにもご随喜(参加)いただきます。詠唱も法要中に奉納致します。但し、お参りは初盆のお宅に限定し、法要終了後の会食も見送ります。全てをコロナ前の形で実施できないのは残念ですが、少しずつ戻していけたらと考えております。何卒ご理解のほどお願い致します。法要の様子は、[Facebook「紫雲山迎接院」](#)(迎接院ホームページから入れます)上で紹介致します。オンラインでもぜひご参加ください。



先祖廻向は、塔婆の準備をしますので7月20日までにお申し込みください。先祖廻向の経木塔婆は、京都で晃希が準備しています。また初盆廻向につきましては、別途ご案内致します。

棚経について

本年の予定は下記の通りです。目安ですので急な変更はご容赦ください。屋外でのお勤めをご希望の方は、お寺にご連絡ください。

棚経の日程の問い合わせが例年多くあります。一応の目安としては、

- 1日：皆生・淀江・箕蚊屋方面、夜見1区
- 2日：夜見1・2区
- 3日：尚徳・岸本・福原・米原方面、夜見2・3区
- 4日：河崎・後藤ヶ丘・啓成・彦名方面、夜見3区
- 5日：夜見1・2・3・6区、和田
- 6日：夜見新田・彦名・河崎方面
- 7日：境港・富益・河崎・両三柳方面 ※8日：(予備日)



13日 18時~19時：「お寺にお参りしての棚経」をご希望の方

☆初盆のお宅は、13日~15日の間に廻ります

☆葬儀や天候、廻り順等の影響で変更となる場合もあります。

随時、迎接院ホームページに掲載しますのでご確認ください。

副住職 伊藤 晃希の進路について



↑後列右から2人目が晃希

佛教大学大学院に通っている長男の晃希ですが、本年3月文学研究科仏教学専攻の修士課程を修了しました。修士論文は、「近世における『一枚起請文』の注釈書研究—大念仏論争をめぐって—」です。江戸時代の教学論争というこれまでほとんど研究されてこなかったテーマを選び、南宏信先生のご指導でなんとか提出したようです。



学位記授与式（卒業式）の



指導教官の南先生と

嬉しそうな写真を眺め、先生・友だちなど「よきご縁」に恵まれたことを親として嬉しく思っております。

「あと3年間だけ大学に残らせて下さい」の願いがあり、4月からは同大学大学院の博士課程に進むことになりました。更なる精進を期待します。

夏休み子ども寺子屋を開催します！

毎年恒例の夏休み子ども寺子屋を行います。平日朝9時から1時間、学習の場を提供し一人学びを支援します。

参加は無料。弓ヶ浜小学校の児童は、学校から配布される用紙に記入して申し込んでください。弓ヶ浜小学校以外でご希望の方は、下記担当へご連絡ください。

担当：伊藤 紀子 ☎29-0809



浄焚会のご案内

浄焚会を下記の日程で行います。古くなった塔婆や白木の位牌をお焚きあげします。今年は令和3年にお亡くなりになった方の白木の位牌の焚きあげもします。皆さんのお念佛で、ご供養しましょう。

- とき 12月9日(土) 午後2時～
- ところ 迎接院本堂・境内にて



秋彼岸「佛さまと^{ゆみはま}弓浜手作り市」のご案内

第5回秋彼岸「佛さまと弓浜手作り市」を下記の日程で今年も開催いたします。コロナ禍以前の形にどれだけ戻せるか、役員さんや出店者さん皆で知恵を絞っています。よりよい手作り市（お祭り）になるように検討中です。初出店のお店も予定されています。詳しい情報は、随時「[迎接院ホームページ](#)」や公式LINEでお知らせしますのでお楽しみに！

日時：9月23日（土・秋分の日）

- ・マスク着用については参加者にお任せ。
- ・念佛行進は検討中。
- ・弓浜餅ウォーク行います。
- ・活動は屋外中心。
- ・飲食については参加者のご判断で。
- ・限定朱印あり。
- ・スタンプラリー行います。
- ・子ども先着30名にかき氷プレゼント。



スタンプラリー♡



中岡みずえさんが今年も来てくださいます。楽しいトークで大盛り上がり間違いなし。みずえさんとしゃべってみらいや！

- ◇日程◇
- 10:00～ オープニング
開白法要（念佛行進）
 - 11:00～ 出店紹介
 - 13:30～ 弓浜餅ウォーク
 - 15:30～ 結願法要
 - 16:00～ お祭り終了

☆変更することもあります☆

○内容は、現在検討中です
一部の出店者は、時間延長営業あり？

